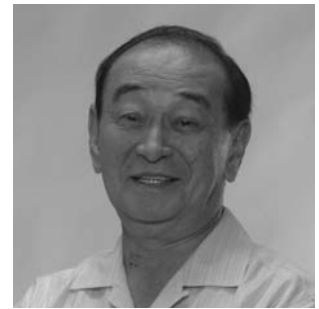


日事 知る あの

沖縄県知事

仲井眞弘多



◎福祉施設視察

五月二十一日(金)

今日は、久しぶりに福祉施設を視察した。

最初に、沖縄県視覚障害者福祉協会が運営する視覚障害者情報提供施設を案内していただいた。

点字図書館では、点字図書などの貸出・閲覧、中途失明者への点字指導や点訳・音訳ボランティア育成などの業務を行っている。

ちょうど、点訳ボランティア養成講座が開催中で、約二十人のボランティアの皆様が受講されていた。私からボランティアの皆様に対して、日頃のボランティア活動に対する感謝と、障害者福祉の向上のため、取り組みを強化していく旨のお話をし、

引き続き御支援をいただきたいとお願ひした。

触る絵本が特に印象に残った。動物や植物だけでなく、空や川なども表現されており、障害のある子どもがこれを感じ取って、夢や想像力を大きく育てていることや、絵本を複製されたボランティアの皆様の御尽力に感動した。

つづいて那覇市内の小学校に移動。放課後児童クラブを見学させてもらった。

放課後の空き教室を利用し、民間の団体が運営するこのクラブでは、一



点字図書館にて

年生から五年生までの児童六十二名が放課後の時間を一緒に過ごしているとのこと。子どもたちの笑顔には屈託がなく、こちらが質問すると大きな声で応えてもらった。

しかし、県内の放課後児童クラブは、民間のアパート等公的施設以外で行われているところがほとんどで、家賃等の負担で経営が厳しく、保育料も全国平均に比べて高額となっている。希望する子どもすべてがクラブを利用できるように、市町村とともに取り組んでいきたい。

◎平成二十二年沖縄全戦没者追悼式

六月二十三日(水)

六十五年前の昭和二十年六月二十三日、日本軍の組織的な戦闘が終結した。この沖縄戦では、史上まれにみる激烈な戦火に襲われ、二十万人余りの尊い命が奪われ、美しい自然やかけがえのない文化遺産を失った。また、今なお県土には、収集されない遺骨や多くの不発弾が埋もれており、戦争の傷は癒えることがない。

本県は、戦没者の御霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う沖縄の心を発信するため、六月二十三日を慰霊の日と定め、この日に沖縄全

平和宣言



が、民族的・宗教的な対立や紛争、テロや貧困など、平和を脅かすさまざまな要因によって、私たちが希う平和とは程遠い状況にある。

沖縄には、万国津梁の精神で、多くの国々と交流し、平和を維持してきた歴史がある。私たちが沖縄県民は、平和を希求する「沖縄のこころ」で、世界平和の創造に貢献し、国際社会に対し恒久平和の発信拠点となるよう取り組んでいかなければならぬ。

私は、全戦没者の御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、沖縄が人類共通の願いである恒久平和の実現に向けて邁進していくことを宣言した。

戦没者追悼式を実施している。

今年も、菅直人内閣総理大臣、横路孝弘衆議院議長、江田五月参議院議長、衛藤征士郎衆議院副議長、前原誠司沖縄担当大臣を始め、来賓多数と県内外のご遺族並びに県民多数が参列し、平成二十二年沖縄全戦没者追悼式が執り行われた。

今、国際社会においては、核兵器不拡散条約再検討会議が開催されるなど、核軍縮の機運が高まっている

◎沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進大会（みんなでグッジョブ運動）

七月二十日(火)

今回で四回目の大会となる。

沖縄県では、雇用の場の創出・拡大に取り組みことと併せて、求人と求職のミスマッチ解消や若年者の就業意識の向上を図るため、県民各層の関心を喚起し具体的な行動を促すことを目的に、「みんなでグッジョブ

運動」を展開しているが、県民運動としての中核的催しの一つが、この「みんなでグッジョブ運動推進大会」である。

会場には、生徒・学生さんを中心に六百名以上の県民においていただいた。子どもたちには、一つのことをやり遂げる達成感、みんなで協力する一体感、社会から求められる使命感など、仕事はとも楽しく自身を大きく成長させるものだと思

しても感じてもらいたい。

大会では、講演を始め、仕事にまつわるさまざまな話題に笑いを交えた川柳やこぼれ話の披露などが行われ、働く夢を探していこうという彼らに、仕事の厳しさだけでなく、楽しさややりがいなども感じてもらいたのではないかと思う。

子どもたちが、学校を卒業して地元沖縄で仕事ができること。又は東京などの県外や外国にもどんどん出て行き、好きな仕事をする

中で、もし家庭の事情などで沖縄に戻らざるを得ない場合でも、ちゃんと仕事があること。女性も結婚後、子育てしながら仕事ができること。また、年配の方も仕事がいままでできること。いつでも、どこでも、誰でも働く場所がある。そういう環境が整えば、沖縄が得意とする文化、芸能やスポーツなどを更に伸ばし、県民みんなが豊かな人生を謳歌できる。そんな豊かな沖縄を目指し、さらにこの運動に取り組んでいきたい。



最後にみんなが「グッジョブ！」